戦争のために土地は売らない

歓　迎

東方に太平洋の海原が拡がり、西方に筑波山を抱える関東平野の百里原に位置するここ航空自衛隊百里基地は、戦前海軍航空隊の基地でした。

★ 戦後は基地がなくなり農業開拓地として解放されましたが、1956年航空自衛隊基地の誘致が発表され1965年には滑走路が完成しました。

この間、百里基地反対期成同盟や愛町同志会が結成され、軍事基地反対の激しい怒りと運動が起こり、基地誘致をすすめる町長をリコールし全国初の山西きよ女性町長を誕生させました。また、1958年から31年間、自衛隊は憲法違反の裁判がたたかわれました。

★ 人の心を鬼にし、人と人が殺し合う戦争。戦前の悲惨な戦争体験は憲法9条によって、鬼から人間のこころを取り戻しました。

戦争のための戦力はもたない、戦争は二度としないという憲法9条の精神は、戦後の国際社会における平和の道しるべになりました。

★ 戦争のための基地づくりである国の買収には協力しないという百里農民の堅い決意は、60年以上にわたって世界に類なき欠陥基地として、滑走路と平行する導路を「くの字」に曲げています。ここは、憲法9条が光り輝いている平和公園です。“貧しくとも平和な暮しを”という百里農民のこころは、五穀豊穣と憲法9条の願いとなって、百里平和稲荷が祀られています。

2021年2月
百里基地反対同盟

平和公園

基地のど真ん中にあって、誘導路を「くの字」に曲げている反対運動の拠点。百里稲荷神社、展望台、日本山妙法寺の石塔とお堂、一坪運動地、平和地主運動地などがある。1989年に百里平和公園として整備された。

九条の丘（射撃場）

「自衛隊は憲法違反」の大看板

海軍航空隊時代に染かれた人工の丘で、反対運動の象徴の一つ。1978年から新一坪運動を行い、500名を超える地主がいる。1976年に「自衛隊は憲法違反」の大看板を設置した。2020年3月に国会で当時の安倍首相から自衛隊員の士気をそぐと指摘された。看板は、平和公園からも基地のエプロンからも、茨城空港を発着する旅客機からも、大変よく見える。

ここからは百里基地が丸見え。

航空自衛隊・百里基地

2016年にF15戦闘機の飛行隊がF4ファントム戦闘機の飛行隊に交代したが、2020年からはそのF4ファントム戦闘機が順次退役し、国産戦闘機であるF2戦闘機の飛行隊が新たに配備された。現在もF2戦闘機などが実戦配備され、毎日激しい訓練が行われていることに変わりはない。百里基地は「首都防空の基地」とされているが、首都圏にある横田・厚木などの米軍基地の防衛が重要な任務である。1989年からは日米共同軍事訓練基地となり、2007年からは沖縄の負担軽減に伴う米軍機の訓練移転基地となって、米軍機の訓練に使用されている。

説明看板を設置

歓　迎

東方に太平洋の海原が拡がり、西方に筑波山を抱える関東平野の百里原に位置するここ航空自衛隊百里基地は、戦前海軍航空隊の基地でした。

★　戦後は基地がなくなり農業開拓地として解放されましたが、1956年航空自衛隊基地の誘致が発表され1965年には滑走路が完成しました。この間、百里基地反対期成同盟や愛町同志会が結成され、軍事基地反対の激しい怒りと運動が起こり、基地誘致をすすめる町長をリコールし、全国初の山西きよ女性町長を誕生させました。また、1958年から31年間、自衛隊は憲法違反の裁判がたたかわれました。

★　人の心を鬼にし、人と人が殺し合う戦争。戦前の悲惨な戦争体験は憲法9条によって、鬼から人間のこころを取り戻しました。戦争のための戦力はもたない、戦争は二度としないという憲法9条の精神は、戦後の国際社会における平和の道しるべになりました。

★　戦争のための基地づくりである国の買収には協力しないという百里農民の堅い決意は、60年以上にわたって世界に類なき欠陥基地として、滑走路と平行する誘導路を「くの字」に曲げています。ここは、憲法9条が光り輝いている平和公園です。“貧しくとも平和な暮しを"という百里農民のこころは、五穀豊穣と憲法9条の願いとなって、百里平和稲荷が祀られています。

2021年2月　百里基地反対同盟

百里の会

自衛隊は憲法違反

第14号　2021年3月15日

一般社団法人
百里の会
茨城県水戸市見川 5-127-281
Tel 080-9457-6381
E-mail hyakurip@gmail.com
HP https://hyakurip.web.fc2.com

平和公園に看板を設置しました

前の頁に掲載しましたが、平和公園の神社のある区域の入り口に、訪問者への説明用看板を設置しました。およそ20万円の費用がかかりました。 初午まつりでお披露目しました。

コロナ禍のなか
初午まつり 200人が集う

憲法9条を守る闘い、意気高く!

メッセージ　内藤功（百里弁護団、一般社団法人「百里の会」顧問）

初午まつりの準備設営に当たられた地元の皆さん、ありがとうございます。日頃から、平和公園、平和稲荷の、草刈り・片づけ、樹木の剪定、建物の修繕、塗装などに努力され、また、見学の方々の案内、説明など、平和交流のために尽力されていることに感謝申し上げます。そして本日早朝より各地からお集りの皆さん、ありがとうございます。

昨年9月、国民の闘いにより、9条改憲・国政私物化の安倍前政権を退陣に追い込みました。今、菅義偉政権は、コロナ対策の無為無策と逆行、相次ぐ不祥事。発足5カ月で支持率は急落しています。衆院総選挙で、市民と野党の共闘の力で、政権交代に追い込みましょう。

百里基地は、アジア太平洋戦争中、海軍の飛行基地でした。戦争の拡大とともに、次々拡張されました。「大型の飛行機の滑走路が必要だ。1週間以内に立ち退け」と、農地が取り上げられていきました。1945年8月15日正午、ラジオ放送が終戦を告げる直前まで、この基地から、特攻隊が出撃し、若い尊い生命が奪われていきました。

終戦後、憲法9条の下、もう軍隊も基地もない。政府の命令で、飛行場は開墾され農地に変えられていきました。ところが、1956年、突如、航空自衛隊の戦闘機基地にするため、政府が土地買収にかかってきました。多くの人が立ち去っていく中で「戦争のためには土地は売らない」という決意の方が、団結して、土地を守り、農業を続けてきました。この平和公園の土地は、その闘いで守りぬかれてきたのです。そしてこの土地に、平和の神様、農業と商売の神様である、お稲荷さんをお祀りしています。

百里裁判は管制塔前の所有権をめぐり、防衛庁が訴訟を起こしてきたのです。私たちは、軍事基地のための土地買収は、憲法9条に違反すると、正面から立ち向かいました。東京の砂川闘争、北海道の恵庭事件、長沼訴訟と交流し励まし合って、31年間、最高裁まで闘いました。不当判決でしたが、頑強な抵抗に恐れをなし、この平和公園を避けて、世界に類例のない「く」の字型の誘導路を作らざるをえなかったのです。

9条の見える丘・射撃場山の大看板。「自衛隊は憲法違反」と書かれています。安倍前総理は国会答弁でこの看板を気にして、「違憲論に終止符を」と言いました。だが、自衛隊違憲論により、自衛隊員は戦後一人も海外で戦死していません。航空自衛隊の戦闘機部隊は、海外の戦場に派遣されていません。憲法9条が自衛隊員の生命を守っているのです。百里闘争の成果です。私たちは確信を強めて、意気高く前進しましょう。　2021年2月11日

リアルな様子は、ホームページで

◆ 初午まつりの当日のリアルな様子は、次のホームページでご覧下さい。

百里基地反対運動（ http://hyakuri.sakura.ne.jp 、検索して下さい） ＊画像はもちろん、動画をみることができます。

◆ 内藤功さんが「百里基地裁判」を一般社団法人「百里の会」ニュース9号（2020年5月15日）と10号（2020年7月15日）に寄稿しています。

「百里の会」ホームページ（ https://hyakurip.web.fc2.com/、検索して下さい）からダウンロードできます。

世界で唯一！
軍事基地のど真ん中に平和公園があります
65年を迎えた百里基地反対運動の現状と展望（上）

毎年2月11日の百里初午まつりに参加していただきありがとうございます。今年（2020年）はコロナ禍の前でしたので、450人が参加し暖かく穏やかな日射しにも恵まれ賑やかに平和を語り合うことができました。基地のど真ん中に、自由に出入りできる基地反対運動を続けてきた人たちの土地があって、それが平和公園として整備され、その中に、百里稲荷神社が鎮座し、毎年盛大にお祭りが開かれています。軍隊の常識から考えれば、これはとても不思議な光景ではないでしょうか。この光景に百里基地反対運動の歴史が象徴されていると思います。これから2回に分けて、なるべく事実に即して反対運動の歴史、現状、展望を述べます。

世界中から、平和公園に２０００人がやってきた

昨年（2019年）1年間の平和公園への一般入場者は2000人を超えました。その3分の2はオランダ、ドイツ、米国、豪州、台湾など海外からやってきた戦闘機撮影マニアの人たちです。公園内に建っている櫓を「Peace Tower」と呼んで、そこから自衛隊のF4ファントム戦闘機を撮影していました。「目の前を行き来する戦闘機を撮影できるなんて世界でもここだけだ」。平和公園の宣伝効果は、抜群でしたが、今年はコロナ禍で来られなくなってしまいました。

反対運動をバージョンアップ ――一般社団法人「百里の会」を設立

2018年11月、平和公園の土地を所有し、維持管理することを主目的に一般社団法人「百里の会」を反対運動の関係者で設立しました。反対運動の第1世代である高塚惣一郎さん、川井弘喜さんが「平和のために」と遺贈してくれた平和公園内の土地を今まで以上に平和運動のために活用していきます。と言っても現在は草刈り作業などに追われているわけですが。

６５年の歴史を５期に区分すると

筆者は1988年に結成された百里平和委員会の事務局長として、65年続く反対運動の後半部に関わってきました。基地のある旧小川町の隣、旧玉造町に生まれ育ち生活してきましたので、地元の反対運動の方々とも交流してきました。その体験などをもとに、百里基地反対運動の歴史を概観してみたいと思います。わかりやすくするために65年間を5つの時期に分けます。

前史（１９３７～１９５４）海軍の飛行場がつくられた

百里という地名は、黄門様が原野がどこまでも続く様を見て名付けたとも言われていますが、水に恵まれない不毛な台地でした。周辺の谷津に農家が点在し畑を開墾をする中、高塚惣一郎さんら農家を強制的に立ち退かせて、1937年に、海軍の飛行場が建設され

ました。百里原海軍航空隊が置かれ、戦争の最終盤には特攻機の出撃基地ともなりました。戦後、この飛行場跡地に周辺の農家の2、3男や満州からの引き揚げ者など150戸ほどが開拓に入りました。コンクリートなどで固められた不毛の土地の開墾は苦労の連続でしたが、10年近く営々と農業に従事し、これからという時の1955年に、旧小川町の町長らによって自衛隊基地誘致が始まりました。

百里を「平和の語り部＆語り場」に！

65年を迎えた百里基地反対運動の現状と展望（下）

１期（１９５５～１９６４）
激しい基地反対闘争を展開

1954年に自衛隊が発足すると全国に基地が必要となり、茨城県は海軍と陸軍の飛行場がたっくさんあったため、その跡地が航空自衛隊の飛行場として狙われました。1956年に正式に基地建設が発表された時には、土地買収はかなり進んでいましたが、開拓農民たちは反対運動に立ち上がりました。そして旧小川町の住民たちも反対運動に加わりました。反対派は、激しい選挙戦を制し、全国初の女性町長・山西きよが誕生しました。しかし、防衛庁と誘致派は諦めることなく土地買収を続け、建設工事も強行し。1964年滑走路は完成しました。

２期（１９６５～１９７６）
基地はできても反対運動は終わらない！

全国や県内の支援団体は、基地が完成すると潮が引くように百里から遠ざかっていきましたが、「戦争のために土地は売らない」という固い信念を持った8戸の農民は、「百里基地反対同盟」を再建し、知恵と力を出し合って、基地のど真ん中にあった誘導路を「くの字」に曲げている土地を中心に反対運動を継続しました。土地の共有化（一坪運動）、初午まつりの開催、射撃場への大看板「自衛隊は憲法違反」の設置などを行いました。

３期（１９７７～１９８９）
百里裁判を共闘して闘う

土地を巡る民事裁判を憲法裁判に発展させて国を相手に闘われた「百里裁判」は、1977年に水戸地裁で自衛隊の憲法判断をしない判決が出されましたが、東京高裁に控訴しました。その裁判を支援するために社会党と共産党が共闘する「百里基地反対連絡協議会」が1978年に結成され、現在まで続いています。1981年に東京高裁は平和的生存権を認めつつ、自衛隊の憲法判断をしないで住民側敗訴の判決を出しました。1989年に最高裁は憲法判断を避け、、住民側敗訴が確定しました。

４期（１９９０～２００６）
米軍が来る中、地元農民と共に運動は続く

裁判が終わった翌年の1990年から日米共同使用基地となり、米軍機との共同訓練が始まりました。私たちは「米軍機来るな！」と集会、現地調査、宣伝活動で訴えると共に、現地の反対同盟と共に「平和農園での米づくり「ピースキャンプ」などに取り組み、幅広い人々が百里の運動に参加できるように工夫しました。

５期（２００７～現在）
運動のパワーアップが進行中

2007年に沖縄の負担軽減のための「訓練移転」が百里基地で始まりました。2010年には滑走路が増設されて民間共用化事業が完成し、「茨城空港」が開港しました。この間、初午まつり、平和農園の米づくりが続けられ、平和盆踊りなど新しいイベントも企画されました。平和運動の大黒柱が次々と物故される中、平和公園の管理も重荷となっていましたが、2016年に作業チームが発足してからは見違えるようにきれいになりました。今後は2018年に設立された「百里の会」が平和公園を維持管理しながら、多様な「百里の運動」をささえることになります。

百里基地を「平和公園」にしよう

コロナ禍でわかってきたように、軍事力で私たちの安全を守ることは出来ません。基地の真ん中にある平和公園を基地全体に広げることを目標に、多様な運動を続けます。

この記事は、茨城AALA会報168号（2020年9月）と169号（2020年10月）に寄稿したものを転載しました。

「百里の会」　栗又　衛